
天候魔導士

sky

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

天候魔導士

【Nコード】

N5469Y

【作者名】

sky

【あらすじ】

いろんなギルドを渡り歩いて過ごしてきた主人公・アキ。そろそろ良いギルドに落ち着こうと思っていたとき、あの有名ギルドのメンバーに出会って・・・

FAIRY TAIL 二次創作！

はじめに

こんにちは。はじめまして。

s k yと申します。

今回が初めての投稿なので、言葉がおかしかったり、

間違えたりするかと思いますが、最後まで読んで欲しいと思います。

今は中学生なので、不定期更新になります。

これは、FAIRY TAIL の二次創作となります。

原作のストーリー通り進んでいきます。

始まりは、ナツたちがシロツメから帰ってくる道中です。

主人公（アキ）目線で物語を書いていくので、ナツたちと別行動をしていたら、

ナツたちは出てきません。

文章を読んでいて、良いところや直した法がいいところが有りましたら、

遠慮なくコメントお願いします。

もともとは作者の妄想からできたものです。

行き当たりばつたりの物語になりますが、どうかよろしく願います。

長くなりましたが、（駄文になるであろう）この小説を見ようとしていただきありがとうございます。

がんばってあげていくのでゆっくり読んでいってください。

主人公設定（更新あり）（前書き）

本編が進んでいくたびちよくちよく更新していきます。

主人公設定（更新あり）

名前

アキ・ディオサス

魔法

天候魔法・翼^{エーラ}

その他所持系魔法^{ホルダー}

好きなもの

美味しい水

嫌いなもの

悪天候

性別

女

容姿

茶髪のシヨート

顔は整っている

黒目

つり気味の目

身長160?くらい

服装

まあ、いわゆる動きやすい格好

背中にリュックサック（所持系魔法が詰まってる）

その他

・天候魔法には広範囲攻撃が多いため、

よく味方も巻き添えにする

・自分で非公式に所持系魔法^{ホルダー}を作ったりする

・何を作ったのか覚え切れていない

・男勝り

・男口調

- ・（容姿や、男っぽい性格から）よく男と勘違いされる
 - ・雲の上に乗ることができ、そこでごろごろしていることが多い。
 - ・（なので、見つけてくれる人はハッピーくらいしか居ない）
- ・年齢不詳

第1話

「ふわあ〜…よく寝たあ〜。」

今日の天気は曇り。しかし、今俺の目の前には、雲ひとつ無い真っ青な空が広がっている。

それもそうだ。俺は今雲の上にいるのだから。

俺の魔法は『ウェザーマジック天候魔法』。これは失われた魔法だ。ロストマジック

この魔法には二次能力が有り、その能力は雲に乗れるということだ。

ギルドに加入していない俺は、暖かい日差しの下で、日向ぼっこをしていた。

「はあ〜…。暇だなあ…。」

今まで1つのギルドに5ヶ月以上いたことは無い。

中小規模ギルドでは（ロストマジック使いだからって）避けられるし、

大規模には縁がなかったし…。

「金ねえしなあ…。やっぱ、ギルド入んなきゃだめだな。

次を最後にしよう！良いギルドで落ち着くか。」

「てゆうか、ここはどこだ…?」

俺は背中のバックの中身を一回出して、最近作った魔法を探した。自分の現在地がわかる地図を小型し、リングマジック指輪魔法にした魔法だ。

「ん〜と、ここは”シロツメ”の南の森か。んじゃ、降りますかっ。」

そういふと、俺は雲から降りた。

第1話（後書き）

展開が速くてすみません。
文にするの苦手なもので・・・

第2話

雲から降りたあと、あっけなく道に迷った。

「ヤバイな…。誰かいないか…?」

(てゆうか、こんな森に人なんているのか…?)
そう思いながらも耳を澄ましたとき、

? 「……………」

? 「……………」

「!?!? 誰かいるのか!?!?」

もう一度耳を澄ました。

? 「……………」

? 「……………」

「…北か?」

昔から耳がよく、静かなところでは結構な距離が聞こえるため、
今回も距離がわかった。

警戒されてはいけないため、静かに近づいた。

女「ねえナツく、少し休もうよ」

猫「あゝ! ルーシイまた言ってるよ!」

男「さつきも休んだじゃねーか。なあハッピー」

男と女と…しゃべる猫?

しゃべる猫ってあいつ以外にいたのか…

まあ、人がいたのはラッキーだ。

早速話しかけて…

！？ あの女の手の甲の紋章…

フェアリーテイル
妖精の尻尾！？

マジかよ！超有名どこじゃねーか！

こりゃマジでラッキーだ。

俺「あの一、すみません。」

女「へ？」

俺「何かお困りで？」

女「だ、誰？」

(やつべー！これすつげー怪しいじゃん！)

俺「あ、いえ、ちょっと話が聞こえたもので…

何も怪しいものではありません…！」

(てゆうか十分怪しいだろ俺)

女「んじゃ、ギルドマクノリアまで送ってってくれる？」

俺「へ？あつ、はい！」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5469y/>

天候魔導士

2011年11月23日15時52分発行